


負けない!
地震に

3月11日(金)三陸沖を震源に発生した「東北地方太平洋沖地震」は、国内観測史上最大とも言われるマグニチュード9.0を観測しました。

中津川市からも、医師チーム・給水車の派遣、救援物資の輸送、募金箱の設置など、継続的な救援活動が行われています。

「いつ起きてもおかしくはない」とさえ言われている「東海地震」。特に中津川市は、『東海地震に係る地震防災対策強化地域』『東南海・南海地震の地震防災対策推進地域』に指定されています。


地震大国日本で、私たちができることは何でしょうか？



地震が起きる可能性は、「もしも」ではなく「いつも」もある。防災が、ライフスタイルの中に自然に横たわるものであってほしい。体験者のキモチをまとめた、新しい地震への備え方と工夫の書。

地震イツモノート
～阪神・淡路大震災の被災者167人にきたキモチの防災マニュアル～
地震イツモプロジェクト【編】

地震に備える!



世界の地震の10分の1が日本で起こっている。もし災害の被災者になるとしたら、どのように考え、ふるまうことが大切か。「被災者学」を語り継ぐ、「正しい被災者になるための入門書」


12歳からの被災者学
～阪神・淡路大震災に学ぶ78の知恵～
メモリアル・コンファレンス・イン神戸【編】

やっぱり一番大切なのは、日頃の防災。地震の被害を最小限に抑えるためにも、正しい知識と防災セットは用意しておきたいところです。

「私の住んでいる地区は大丈夫かしら...?」

事前に『中津川市地震防災マップ』で確認しておきましょう!

市ホームページから
「中津川市地震防災マップ」
で検索!

被災地での体験談、ノウハウ、心理ケア。そして、支援を受けた人・支援してきた人の生の声。

「自然災害ボランティア」って自分にもできそう!」のきっかけとなる一冊。

**あなただからできる
自然災害ボランティアABC**
(社)日本ネイチャーゲーム協会【編】

地震より強い心の絆

SAVE THE LIBRARY

東北地方太平洋沖地震では、多くの図書館も被災しました。もちろん、被災者への支援が最優先ですが、図書館の提供による「娯楽の充実」や読み聞かせによる「子どもの心のケア」など、図書館の復旧は被災地の復興支援につながります。

『savelibrary@ ウィキ』では、被災した図書館の情報を集めて公開しています。

<http://www45.atwiki.jp/savelibrary/>

「募金」は現地に行かなくても出来るボランティア。市役所、各総合事務所、各地域事務所(旧コミュニティセンター)など市内19カ所の窓口で義援金を募っています。決して無理をせず、できることから始めましょう

おいでんさい 市立図書館

4月展示コーナー

4月1日（金）～4月27日（水）

国際 アンデルセン賞 展

「小さなノーベル文学賞」とも言われる、「国際アンデルセン賞」は、子ども本の分野における最高の国際的な賞です。

4月2日のアンデルセンの誕生日にちなんで、アンデルセン賞の受賞作品を展示します。

また、日本の受賞者、まどみちお・安野光雅・赤羽末吉の他作品も一緒に展示します。



図書館スタッフの お気に入り



“心の風邪”で休職中の男と、家族を亡くした傷を抱える女。海辺の町で、ふたりは出会った。心にさわやかな風がふきぬける、愛と再生の物語。

『風待ちのひと』伊吹有喜【著】



無理だとおもったら何にもできない。

できないと思ったらできるわけない。

この本を読んで、あなたも夢をつかみとろう！

『夢をつかむ法則』向山恵理子【著】

貸出しランキング

1位

『KAGEROU』
齋藤智裕 ポプラ社

- 『風のなかの櫻香』内田康夫 徳間書店
- 『やぶへび』大沢在昌 講談社
- 『つるかめ助産院』小川糸 集英社
- 『1Q84 book 1』

村上春樹 新潮社

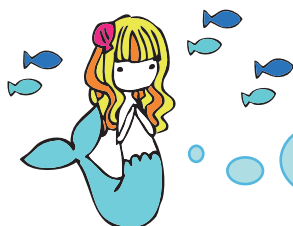


子ども読書の日

4月23日は子ども読書の日です。市立図書館では、この日にちなんで、子ども達が楽しめるイベントを計画しています。

ぜひ、親子でいらしてください。

おともだちもいっぱい連れてきてね！



お楽しみ
プレゼントもあるよ！

どんなイベントかは来てのお楽しみ★

4月行事カレンダー

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
	休館日	★◆			★	♣
10	11	12	13	14	15	16
	休館日	◆				♣
17	18	19	20	21	22	23
♥	休館日	◆				♣
24	25	26	27	28	29	30
	休館日	◆		休館日		

★「ブックスタート」13:30～ 健康福祉会館

♣「すいーとほてとのお話し会」14:30～ 絵本コーナー

♥「ポポタムスのえいごDEお話し会」14:00～ 絵本コーナー

◆「読み聞かせサポーターのお話し会」11:00～ 絵本コーナー

イマココ!

新図書館情報

4月 館長募集中!

読みたい、交流したい、発信したい

人が集まる
創造情報館



※外観イメージ図

新しい図書館はどんな図書館?

図書館は、人が創造したもの（図書、情報）を収集・整理して、活用するという「知的な創造に関わる」市民の教育機関（社会教育施設）です。

インターネットでなにもかもが手に入る時代だからこそ、図書館は、子どもから高齢者まで、いろいろな暮らしや働きをする人たちが本に触れ、楽しみ、くつろぎ、交流するという、人間らしくある空間を提供します。

図書館では、本を読んで新しい考えや知識を得るだけでなく、人と会話することで自分と違う考えや見方に出会い、自分の発想を豊かにし、新しいものを創造する。そして生まれた新しい創造を発信していくことができます。

新たなものが暮らしや仕事のなかで創造され、発信されたものがやがて図書館に蓄積され、みんなの役に立つ。このサイクルの中心となるのが、**中津川市の新しい図書館**です！

募集期間

H23.4/1～4/28

市立図書館館長募集

中津川市の新しい図書館の理念である、

読みたい、交流したい、発信したい 人が集まる「創造情報館」

を理解し、その基本方針をもとに、一人ひとり、そしてまちの全体の想像力を高めるため、オープンに向けて準備から運営まで積極的に取り組んでいただける、熱意ある方を募集します！

- 募集人員 図書館長1名（中津川市職員・課長相当職）
- 応募資格 次の全てに該当する方（平成23年4月1日基準日）
 - ① 満46歳～59歳（※市職のため60歳定年）
 - ② 平成23年7月1日から勤務可能な方
 - ③ 基本理念と方針をもとにした新たな図書館運営に関する識見と熱意のある方（学歴・司書資格の有無は問わない）
 - ④ 地方公務員法第16条（失格条項）に該当しない方
- 問合せ・申込先 中津川市役所人事課 TEL 66-1111



詳しい応募の方法・内容等につきましては、市ホームページをご覧ください。

編集後記



地震・雷・火事・大山風!いつ、どこで何が起きるかわかりません。日頃の心構を家族みんなで話し合ってください。(青木)



自然の猛威の前で、図書館は一体何ができるのだろうか……。 (小池)



地震があった時どこに避難したらいいのか、家族との連絡の取り方など確認が必要ですね……。 (篠原)



編集中に色々なことがありましたがメント・モリ!今出来ることをしましょう!とりあえず小椋は「春眠暁を覚えず」で…。 (小椋)

キラッと☆

山口公民館図書室

山口公民館図書室は平成 14 年に建物内で引越しをしました。人目につきづらい階下から、正面玄関に近く、図書サービスのしやすい現在の場所に移動しました。その後も人気のある作品や子どもたちにお勧めの図書を、図書室から人目につきやすいロビーに引き出すなど、住民の皆さんが利用しやすい図書室づくりに取り組んでいます。

公民館だよりで新着図書の紹介をしたり、リクエストに応じた図書購入などで一般的な利用の促進に努めているほか、子どもたちに向けては山口幼稚園に図書の貸し出しを行っています。2ヶ月に一度、保護者会の当番のおかあさん方が図書箱を抱えて図書交換に訪れ、子どもが喜びそうな本や子どもに読んで聞かせたい本などを詰め込んで幼稚園へ借り出します。幼稚園では子どもたちがお気に入りの本を手にしたたり、家に借りて帰っています。

去る2月20日に公民館を会場に開催された「山口地区

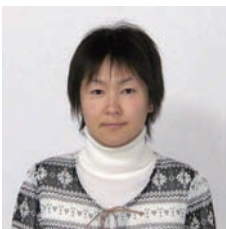
福祉健康の集い」では、絵本の読み聞かせコーナーが設けられ、子どもたちに絵本の楽しさを伝えたり、一緒にあやとりや折り紙を楽しみました。公民館図書室もこうした活動を大切に育てていきたいと考えています。

この地域は、島崎藤村、葉山嘉樹、宮口しづえ、東山魁夷といった著名な作家や画家とのご縁があります。中でも、山口に居を構えた葉山嘉樹については、ご家族からご寄贈いただいた遺品や没後発行されご

家族が所蔵していた図書などを集めた一室を設けています。蔵書構成のうえでは、こうした方々に関わる資料の収集を当図書室の大切な役割のひとつと考えています。



山口公民館図書室 住所：山口 1616-3 TEL:75-3158 開館時間：9：00～20：00 休館日：12/27～1/5



遠山 朝奈 【中津】

親子で読書タイム・・・家読のすすめ

市内の多くの小中学校で、保護者による読み聞かせが行われたり、朝の読書タイムが設けられたりしていますが、大人の本の読書量は減っているようです。

東小学校では、読み聞かせのほかに、親子読書の週間も設けて、親子で一緒の本を読んだり、一緒の時間にそれぞれの本を読んだりしてきました。今年度はさらにそれを発展させ、「家読（うちどく）」と題し、テレビを消して、家族皆で読書をする時間を定期的に設けていくようにします。家族で読書をし、読書を通して家族のコミュニケーションが深まり、絆が強まることを願っています。

家族揃って「家読」用の本を選びに行きたくするような、素敵な図書館ができるのが楽しみです。



「アイらぶ図書館」では、「図書館」「本」「読書」など、図書館や読書活動に関するたくさんの方の「愛」を掲載していきます。たくさんの方の「想い」をつなげたペンリレーが、次はあなたの元に届くかも！ペンリレーで繋がれ、図書館の「輪」！

田島 雅子さん⇒松田 幸博さん⇒小栗 仁志さん⇒吉川さおりさん⇒加藤雄一郎さん⇒遠山朝奈さん⇒???

中津川市立図書館（中津川市本町 2-3-25）

TEL (0573) 66-1308 FAX (0573) 66-6256

HP <http://www.city.nakatsugawa.gifu.jp/>

新図書館準備室（にぎわいプラザ 4F）

TEL (0573) 66-1111(代) 内線 4311

※紙面に関する問合せは準備室までお寄せ下さい



携帯電話のバーコードリーダー機能を利用して、このQRコードを読みこむと、市内図書館・図書室の蔵書検索・予約ができます。

※予約の際には事前に図書館の窓口でパスワード登録が必要です。